

読んでほしいな。

ティーンズコーナー 新着図書7月分

新しく入った本の中から
ピックアップして紹介します



これが目じるし↑

【生まれ出づる悩み】有島武郎／著 集英社 F/アリ
作家である「私」の元を突然訪ねてきた中学生の「君」は、画家を目指しながらも、現実的な理由で絵画への道を諦め、故郷へ帰らざるを得なかった。——それから10年が経ち、「私」の元に、魚臭い小包が届き……。理想と現実の狭間で悩む青年の物語。

【りょうしりきがく for babies】
クリス・フェリー／さく 村山斉／かんやく サンマーク出版 E4/フェ
最先端テクノロジーの世界で不可欠となった量子力学の基本を、数学者であり物理学者でもある著者が、赤ちゃんにも伝わるようにと願ってつくった絵本。極小の世界で起こる不思議な現象を深く知るきっかけになります！

【三四郎】夏目漱石／著 集英社 F/ナツ
熊本から東京の大学へ入学した三四郎は、都会育ちの美しい美禰子に恋心を抱くようになる。愛することの不安と戸惑い、青年の複雑な恋愛心理を清冽に描く。『それから』『門』へと続く、漱石の前期三部作のひとつ。

【ベルリン1933壁を背にして】 上下
クラウス・コルドン／作 酒寄進一／訳 岩波書店 943/コル/1 943/コル/2
1932年、夏。世界恐慌のあおりでベルリンの街にも失業者があふれるなか、「よりよき未来」を約束するナチスは急速に勢力を拡大していた。ヒトラー政権奪取までのわずか数か月を、15歳の視点で描く。

読みたかった本がある
…かもしれない
《ティーンズコーナー》
をのどきに来てね。